



アトピーへの正しい視点 みんなで考える アトピー ジャーナル

JADPA



NPO法人日本アトピー協会

発行：NPO法人 日本アトピー協会 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-1-7日精産業ビル4階 電話.06-6204-0002 FAX.06-6204-0052 Eメール：jadpa@wing.ocn.ne.jp ホームページ：http://www.nihonatomy.join-us.jp/

C O N T E N T S

◆ 震災支援経過報告・レスキューパック誕生！…………… P1	◆ 法人賛助企業様ご紹介 第2回 マルホ株式会社…………… P6
◆ 海外視察報告 韓国のアトピー事情「森林浴転地療法」…………… P2	◆ DOCTOR INTERVIEW 笹川 征雄先生…………… P7
◆ アウトドアの季節の到来！ 陽のあたる表に出よう Part I. 森林浴…………… P3	◆ ATOPICS…………… P8
陽のあたる表に出よう Part II. 土に親しむ…………… P4・P5	◎第27回日本臨床皮膚科医会総会 ・臨床学術大会付設展示会に患者団体展示として参加
◆ 学童生徒の健康を見守る確かな目…財団法人日本学校保健会… P5	◎「症状チェックカレンダー」
◆ 日本産業皮膚衛生協会の総会に招待されて…………… P6	◆ ATOPIC LIBRO 読んでみましたこの書籍…………… P8

震災支援経過報告 レスキューパック誕生！

東日本大震災から早や三カ月になります。日本アトピー協会では引き続き沿岸部被災地等への支援活動を続けています。これまでに多くの皆様からの善意が協会に寄せられ、事務所はいまだに倉庫状態で段ボール箱の隙間でパソコンに向かっております。ほんとうに有り難いことです。少しでも早くお届けしようとスタッフ一同、テンヤワンヤで毎日励んでいます。

被災されたアトピー患者さんに「レスキューパック」をお届けしています

依然として避難所生活を強いられている患者さんも多くいらっしゃいます。日本アトピー協会では、不自由な暮らしの中で少しでもお役に立ちたいと、避難所生活でのスキンケアなどに必要と思われる品々をあらかじめ詰め合わせセットにし、ちょっと大げさですが「レスキューパック」をお届けしています。個々の患者さんからの要望もお聞きしており、レトルト食品の入手などに手間取り若干の遅れはありますが順次お届けしています。

協会では患者さんが一日も早く元の暮らしに戻るよう祈念しておりますが、家を失った方が多く、また福島原発事故で家がありながら戻れなく、しかもいつ戻れるかの目途も立たない中、アトピーの患者さんの無念の思いにお声掛けするコトバもありません。微力ではありますが遠慮なく用事をお申し付けください。

製薬会社をはじめ多くの関連企業様から頂戴しておりますご賛助はこのような時のためにこそお遣いすべきと考えております。本紙が被災地へお届けできる部数はたかが知れておりますが、読者の皆様の関係者で被災地にお身内の方や知人・友人がおられましたら、大阪発信ですが市井の片隅でこのような取り組みをしております日本アトピー協会の存在をお伝えいただきたく、切にお願い申し上げます。

「レスキューパック」のお知らせポスターは有志の方々により各地の避難所に掲示していただいております

「レスキューパック」に入っているもの
基本セット：ノンアルコール清浄綿・精製水・ウエットティッシュ

シュ・リント布・包帯・バスタオル・ボディータオル・マスク・肌着・ダニ取りマット・フラットシート・爪切り・爪やすり・お肌にやさしいスキンケア用品(洗顔クリーム・ボディーソープ・シャンプー・サンスクリーン・肌水など)・お肌にやさしい肌着上下セット・このほかレトルト食品など若干のご要望にお応えしています。



「レスキューパック」内容の一例
リクエストに応えまして、これ以外に個々に必要なものも取り揃えます。

引き続き多くの支援物資が寄せられています。感謝！！

◆グンゼ株式会社様＝婦人紳士子供上下肌着各サイズ◆大島椿株式会社様＝アトピコススキンケアシリーズ合計144本◆渋谷油脂株式会社様＝粹練り洗顔石けん40個◆オーミケンシ株式会社様＝化粧せっけん20個◆エルピー技研株式会社様＝ダニ取りマット100枚◆有限会社てふてふ様＝純綿肌着上下14枚◆社会福祉法人さんかく広場様＝減農薬ラスク57包およびパン25個◆株式会社フタバ様＝バスタオルとフェイスタオル各150枚◆株式会社禾様＝クッキー追加あり合計75箱◆大衛株式会社様＝追加分ペーパーおしぼり150本入り10袋×25ケース、食品素材によるウエットティッシュ80枚入り×40袋×5ケース◆亀田製菓株式会社様＝米菓ハイハイ12個入り10ケース◆エクロール株式会社様＝メディケアクリーム追加48本◆サンワード商会様＝ポロシャツ100枚◆マルホ株式会社様◆平和バイオテック株式会社様からも追加提供がございました。

個人の方からも

◆青木わか子様＝デンマーク・ダンフィール社製体圧分散敷布団21ほかガーゼパジャマなど◆岡本正行様マスク50枚×12箱ありがとうございました。

※前号2頁「たこるくん」ぬりえ60冊・クノート160冊・ク自由帳160冊・クレパス50セットについて有限会社オフィス・メイ様の表記が抜け落ちており大変失礼いたしました。

海外視察報告 韓国のアトピー事情 森林浴転地療法

昨年、韓国教育テレビの取材を受けたせいか、韓国からの呼びかけが多くなりました。震災支援活動の真っ最中の4月初旬に韓国の中央部に位置する江原道楊口郡(カンウォンド ヤンググン)で医療観光をテーマとしたアトピー研究会に招待され参加してきました。

韓国でも近年、アトピーの患者さんが急増し、特に6~12歳の児童では27.5%という高い罹患率です。3人に一人はアトピーということで社会問題にもなっています。韓国といえば、私たちは東洋医学万能の治療法をイメージしますが、中国と違い韓国は欧米医学に多くを学び、また医療制度は国民皆保険制です。しかも日本のように複数の複雑な健康保険制度ではなく、国民健康管理公団の掌握する保険に一本化されていてとてもシンプルです。電子カルテの普及率は100%とわが国よりはるかに先進的です。医薬分業は強制的で利権が複雑に入り組み、さまざまな思惑で運営される日本の医療経営を見ている私たちには一面ではちょっと羨ましい治療環境です。

ただ患者さんの治療費負担率は日本より高率でおよそ2倍。就学前の児童全額無料という恩恵も韓国では望めません。また保険診療と自由診療の併用を認めないわが国とは違い混合診療が容認され、患者さんも「良いとこどり」ができ、医師にも都合な面があります。ただしある程度の経済的な余裕のある層に限られるようです。

日本と同じステロイド外用薬による標準治療

韓国のアトピー性皮膚炎の治療は、日本と同じように医師によってさまざまな方針があるようです。おおむね厚労省や日本皮膚科学会の治療ガイドラインと同じ考え方です。標準的な治療は軽症に対してはスキンケア、中等症以上にステロイド外用薬を使い、皮疹の症状が緩和してから悪化要因排除の生活指導を行っています。

ステロイド薬へのおびえは日本ほどではありませんが忌避や拒絶は若干存在しています。また日本と同じようにアトピービジネスも横行しているようです。ただ韓国では医師への信頼が厚く、患者さんはおおむね従順で服薬コンプライアンスも確立しています。これは宗教的な背景が日本より色濃く、また大学医学部への「ブランド信仰」もあって、医師には仕事がやりやすい環境です。若手医師を恐怖のどん底に落とし込む「モンスター・ペイシエント」は今のところ居ないらしいです。ところで気になる漢方療法ですが、やはり多くの患者さんに支持され、特に南部の大田にはアトピー性皮膚炎に対して高水準の漢方療法を行う大田大学付属の病院があります。日本からも治療を受けに行く患者さんもあると聞いています。この辺のお話はまたの機会とし、研究会の開催された楊口郡について報告します。

転地療法のアトピーメッカに

江原道楊口郡は、山と湖があり山紫水明、ちょうど上高地のようなロケーションです。空気が清澄なため韓国の中央天文台があります。アート関連の施設も多く韓国ではよく知られた保養地です。「冬のソ

ナタ」のロケ地で有名になったヨン様ランド「春川(チュンチョン)」が近くにあります。医療センターは街はずれの林間にあつて長期滞在もできるコテージが点在し、診療棟もコテージでアトピー専門医が常勤していてアトピー患者の診療にあたっています。

診察診療はチョイ先生と女医さんのヨン先生が担当しています。両医師とも延世大学出身でチョイ先生は国際会議にもしばしば参加され日本でも知られています。延世大といえばソウル、高麗と並ぶエリート校、日本でいえば慶応大に例えられます。

標準治療とともに特に力を入れているのが、身の回りからのダニ排除です。特産の漆成分を生かしたアレルバスターのような働きをする防ダニ剤で住環境の防ダニ処理をするよう提唱されています。診療棟や患者さんの滞在棟のコテージはもちろん漆による防ダニ処理が施してあります。診療棟にはジャクジー完備の入浴施設もあり施設は高水準。さすが李明博大統領の一声で健康立国、特に医療観光に力を入れて行こうという姿勢が施設全体で感じられ、アトピーメッカとなるよう楊口郡は官学一丸となって取り組んでいます。言葉の壁、食べ物の問題、生活慣習の違いなどは今後の課題となりますが、患者さんの一つの選択肢として報告いたします。



中央はヤング郡守チョン知事、向かって右へ後藤田、チョイ医師。知事の左へ延世大学保健医療学科ナム教授、ヤング郡保健所長



患者滞在用コテージの前で、女性はヨン先生

アウトドアの季節の到来！ 陽のあたる表に出よう Part I. 森林浴

森の「精気」に触れる森林浴

日本でも外国でも森を形容するのに「神秘」というコトバを冠します。森には人智では解せないことが多く、それゆえ神の住むところか、逆に魔モノが棲むところとされてきました。そんな森の神秘が科学的に解明され「森の精気」といわれる物質フィトンチッドが発見されたのは80年前の1930年のことです。ロシアの化学者が傷ついた樹木の周辺には菌類が繁殖しないことを不思議に思い、それは樹木から放散される揮発性物質に殺菌力のあるのではと研究を重ねた結果、樹木の自己治癒力を高めるための自己防衛の手段であることが判明しました。これを人の治癒力を高めるために使えないかと多くの科学者が取り組んでいます。現時点では残念ながらエビデンスを伴う有効な結論は出ていませんがフィトンチッドに含まれるテルペノイドやフラボノイドの抗菌性、抗腫瘍性は解明されています。テルペノイドはユーカリの芳香やシナモン、生姜の風味のもと、フラボノイドはココアやコーヒー、ワインに含まれるカテキン等もその一種でお馴染みです。これらにプラスαが加わって森の精気となって心身のヒーリング効果を高めているとされています。この辺りの解明は今後の研究に期待したいものです。

森林浴のポイント

森林浴は何よりも心身ともにリラックスすることが肝心です。「～をせねばならない」と自己束縛することや義務感とは無縁でありたいもの。ただ若干のルールがあって森林浴で森を散策するときは概ね4時間から4時間半、年齢にもよりますが5時間は少しきつく翌日、疲れが出ます。歩行距離にして5～6キロが適しています。半日コースなら2時間程度とされています。

また随時休憩し小鳥の声に耳を傾けたり、木々を見たりしてください。お気に入りのポイントが見つければ、寝そべるなり居眠るなり思いのままに…。携帯電話は万一のためにだけに持参、メールもアイポッドなどでのミュージックも不要にしたいですね。ただ水分補給には気を配りましょう。この場合も炭酸飲料は遠慮し、出来れば森の湧水ってところでしょうか。もちろん歩きやすい服装と足元で…、紫外線防止も怠りなく。

免疫力を高めるためには2泊3日程度のスケジュールで年に何回か森林浴を行うことが効果的とされています。白神山地とか清里高原など著名なところではなく、探せば意外に近場で見つかるかも知れません。東京なら高尾山など奥多摩や日光辺り、関西なら鞍馬や湖北の山々、春日奥山原始林など穴場かも知れませんが、ただ都会の喧騒から離れることが森林浴のもう一つの目的ですから、適度な距離感があっても良いとは思っています。なお欲を言えば歩いた後は温泉につかりたいものです。

森林浴が盛んな海外

フィトンチッドはどちらかといえば針葉樹から多く発散されているといわれますが、広葉落葉樹もさかんにフィトンチッドを放出しています。ロシアで研究された経緯から白樺などの森林浴効果はよく知られています。

小説で有名な「ノルウエーの森」は東京都内が舞台ですが、本物の方はヨーロッパトウヒや赤松の森で手入れが行き届いて夏季には森林浴が盛んです。またドイツのシュバルツバルツは「黒い森」の名に違わずうっそうとしたモミの木で森でも森林浴が盛んです。カナダは森林浴のメッカです。お金とヒマのある方は海外長期滞在でアトピーが消えてしまう可能性が大きいといわれていますが、実現は難しいですね。

そこで、近場として前出の韓国江原道楊口(ヤング)郡に森林浴を兼ねた新設のアトピー治療センターはいかがですか。日本からの患者さんも誘致したい意向です。ヨン様とお馴染みの春川から車で1時間ほどのカントリーな雰囲気ななかにコテージが点在し長期滞在も可能です。

医師のチョイ先生は韓国だから別に東洋医学主体でなく、日本と同じ標準治療の方針としています。当協会では今後の課題として日韓の患者さんの交流を高めたいと考えています。コトバの問題を克服すれば新しい可能性が広がります。

アウトドアの注意点

森林浴、ハイキング、トレッキング、活発な方ならマウンテンバイクでのエンデュロ(林間走破)…、楽しいことがいっぱいあります。しかしアウトドアには避けて通れない三つの難関があります。

まず紫外線、つぎに水分、そして虫。紫外線や水分補給については過去にずいぶん紙面を割きましたので、ここでは虫について考えてみましょう。アウトドアはまさに虫たちの領域、とくに花のあるところは好き嫌いは別として虫たちの天国、その中に私たちが「入って」行くのですから、いわば虫が主役で私たちはゲスト。彼らを刺激しない限りは無害ですがルール違反をすると襲ってきます。中でも恐ろしいのがスズメバチです。スズメバチの巣は老木の根元などに隠れていて人が不用意に近付くとアゴをカチカチ鳴らしてまず威嚇してきます。かなり大きな音だそうですがそれを無視するとチクッと毒針のお見舞い。刺されるとかなり危険です。またミツバチも巣に近づくと、まず威嚇し攻撃してきます。いずれも刺されればかなり腫れ、熱を持ちます。アイスノンなどで先ず冷やすことが肝心、そして必ず医師に診てもらってください。虫に関する外傷はやはり皮膚科の領域です。毛虫でのかぶれ、蛾や蝶の鱗粉によるかぶれ、またムカデに噛まれるなどしたら必ず医師の診察を受けてください。

さて蜂に刺されたり、ムカデに噛まれるなど2度目の場合は特に要注意です。最初に噛まれた時に抗体ができ2度目になって激しい抗体反応がおこり、アナフィラキシーショックに陥ることも多く、このことは野外活動の際にはぜひ注意しておきましょう。

近年、野外活動センターなどには、自動体外式除細動器(AED)のように、アナフィラキシー対応の「エビペン」というエピネフィリン簡易注射器が設置されるようになりました。万一の蜂刺されに安心ですが「エビペン」のお世話になりショックから回復したとしても、その後は必ず医師の診察を受けて抗体反応が完全に鎮静化していることを確かめてもらいましょう。

アウトドアで遭遇するちょっと嫌な面々

◆ミツバチ・スズメバチ・クマバチ=巣に近づかない限り安全、ミツバチは花の蜜を吸っているときは襲ってくることはないそうです。◆アブ=大型のハエで突然襲ってきます。蚊のように血を吸い噛まれた瞬間、注射のような痛みがあっという間に判ります。噛傷はなおりにくいとか◆ブユ=これもハエの仲間ですが大きさはハエの4分の1ほど。アブとは逆に噛まれた直後より翌日以降に痒みが激しくなり噛まれた箇所が大きく膨れ上がります◆カ=なかには厄介な病原菌を持っていることもあります。噛まれた後で熱が出たら要注意。息に含まれる炭酸ガスに反応すると鼻息の荒い方は気を付けましょう◆ドクガ=2センチほどの小さな毛虫で黒い体の背中にオレンジのラインがあって毒針毛を持っています。この毒毛針に触れると一週間ほど腫れが引きません。風で飛んだ毒針毛でもかぶれます◆カレハガ=ドクガ同様、毒針毛を持っています◆カメムシ=うっかり触れると強烈な臭いを発します。衣服に付着するとなかなか取れません。害はないが加齢臭に似た臭いです◆セアカゴケグモ=ひととき大発生して話題になりました。かなり強い毒を持っていて噛まれた幼児が死亡した事例もあります◆ツツガムシ=ダニの一種で体長0.3ミリ前後、林間の枯葉などにいて動物の息に反応して飛び移り吸血、その際、病原菌リケッチャーが体内に入ってツツガムシ病という死亡率の高い熱病を引き起こします。昔の旅人がこの病気で死ぬことが多く、無事であることを「つつがなし」といった逸話があります◆ムカデ=毒の成分はタンパク分解酵素などでハチ毒に似ています。ハチほど攻撃的ではなく臆病ですがうっかり触れると瞬時に噛みつかれます。必ず医師の診察を受けてください◆ヘビ=マムシやハブ、ヤマカガシなど毒を持ってヘビが何種類か日本に生息しています。毒蛇は動物の体温に反応して攻撃してきますが、一定の距離以上離れていると無関心で概ね1メートル内外とされています。遭遇しても慌てずにそっと離れましょう。

一般的に虫や爬虫類などは単一反応のマイコンと同じでセンサーが感知して瞬時に動きますが「執念深く追跡する」なんて芸当ができません(ハチは例外ですが)。

陽のあたる表に出よう Part II. 土に親しむ

土は汚いという先入観

土にはバイキンがいっぱいいるので砂場などで子供さんを遊ばせないという。少し潔癖症のお母さん方が増えてきたのでは…と思います。ドロコ遊びということばはもはや死語でしょうか。ペットブームとなって砂場で平気で糞尿をさせるペットの飼い主もいますのでお母さん方の気持ちも判りますが、小さいうちに土遊びをしたり、また動物と親しんだりした経験があると因子を持っていてもアトピーなどになりにくいという研究があります。これは細菌に対しての免疫力や皮膚常在菌叢が小さいうちに安定し、バリアー機能が強靱になっているという仮説に立ったものだそうです。酪農家にアレルギーが少ないという話も聞いております。

土壌菌の多くは人とは無関係

土には計り知れないくらい多くの微生物が棲んでいて1グラム中にわが国人口の数倍の微生物がいるとされています。土のなかの微生物を大別すると、細菌、放線菌、糸状菌、藻類、原生動物の5種類に分類されます。細菌には球状、ソーセージ状、らせん状があって通常「バイキン」といって敬遠しているグループ。放線菌と糸状菌はカビで殆どは無害、なかには医薬品になったモノもあって製薬会社にとっては宝の山。藻類と原生動物が加わって、これらの微生物は土中の有機物を分解して植物が養分として取り込みやすくする働きをしてくれます。

土のなかのほとんどの微生物は人に害を与えず、むしろ目に付かないところで有益な働きをしています。善玉菌とか悪玉菌という分け方は人間の都合によるもの。善玉菌が良い働きをすると「発酵」、悪玉菌が働く「腐敗」です。これも人間の尺度で測ったものですね。多くの微生物は人間とは無関係に彼らなりに生存しています。

土に親しむ・その1—園芸

患者さんの皆さんに農業をしたらアトピーとはおサラバですよ…なんて無理な話、せいぜい家庭菜園が関の山でしょうが、手軽にできるのは園芸…ガーデニングといえぱちょっと小粋です。庭がなくてもベランダでプランターを並べて花を植える。子供さんなら今の時期、朝顔でしょうか。

タネを播いて芽が出て、朝顔らしい中ほどにくびれのある双葉が出てきて、やがてツルが伸びてくる…。あの感激は皆さんお持ちの筈。そんなことから始めてバラづくりまで挑戦できれば、もしかしたらアトピーは消えているかも。

園芸は高貴な趣味とされ、少しばかりお金と暇が要りますが奥深いモノがあって、ついついのめり込みます。各種の土を調合したり、コンポストを手で触ったりして、バイキンとの接触は避けられません。ときには根や葉の裏に招かざる虫たちがいて悲鳴をあげたくなります。農業に頼るのか他の方法を探すか…というようなことから、大げさですが日本の農業が直面している問題も見えてきます。

観葉植物はカビが生える、鉢植えには虫がいて土はバイキンだらけ

…この当たり前のことを受け入れるか遠ざけるかは患者さんも医師も意見が分かれます。しかし土に親しむことは、私たちは人間である前に動物だったことがヒントになるかも知れません。

土に親しむ・その2—フラワーアレンジメント

ガーデニングで土をいじるのは、やはりちょっとためらう…でも花が好きという方にはフラワーアレンジメントをお勧めします。

生け花は堅苦しいお作法があって馴染めない方でもフラワーアレンジメントは気軽に取り組みます。アレンジメントとカタカナで呼ばれていますが、要は花を飾ること。しかし花瓶に入れてお水を取り換えるだけでは何となく物足りないもの。そこで思いもつかないモノに花を生けて楽しむのが、アレンジメントの面白さです。キャンプで使う飯盒=はんごうにカーネーションをぎっしり押し込んだり、研究室で使う試験管を束ねて一本ずつバラの花を活けたりしてアーティスト感覚で楽しめます。ルール無視、ただし活けるお花の命を考えて、より長く美しく咲かせてあげる工夫をしてください。



土に親しむ・その3—陶芸

電気窯の普及で焼き物づくりは手軽にできるようになりました。各地の文化教室やサークル活動でも陶芸は人気講座のひとつ。誰でも気軽に…それでいていっばしの芸術家気取りで楽しめるのが陶芸の魅力です。

さて陶芸といえば素手で土をこねて形を整える作業があって、ロクロに適した柔らかさを手のひらで感じ取ったりして、文字通り土に親しまなければ作品が生まれません。

また市販の土に頼らない場合は陶芸に適した土を見分けたり、発酵させたり、数種の土を配合したりしてドロコになります。場合によっては窯の温度管理などがある冬でも汗だく、アトピーには悪条件ばかり…、ですから勧めることは出来ませんが、モノづくりに熱中することで違った答えが出てくるかも知れません。

各地の窯元で「じゃまだ」といわれながら陶芸体験をしてアトピーであることを忘れてしまった…という患者さんも過去に話を聞いています。

●●● **農作業体験**…下記へ直接お問い合わせください。

◆滋賀県竜王町◆「晴れやかファーム」

〒529-1421
滋賀県神守郡五箇荘町竜田237
電話0748-48-6780
代表者 毛利有宏さん

各地で有機農法を採用している「ファーム」では短期滞在で農作業を体験し、採れた農作物を調理する体験学習プランがあります。



貸し農園で花づくりを楽しむ

◆京都府京都市◆「天空農園」

〒610-1134
京都府京都市西京区大原野石作町559
電話075-335-5800
問合せ:京都市産業観光局農林部農業振興整備課 075-222-3352

※貸し農園に関しては各都道府県の農業振興課または公園課などにお問い合わせください。

学童生徒の健康を見守る確かな目…財団法人 日本学校保健会

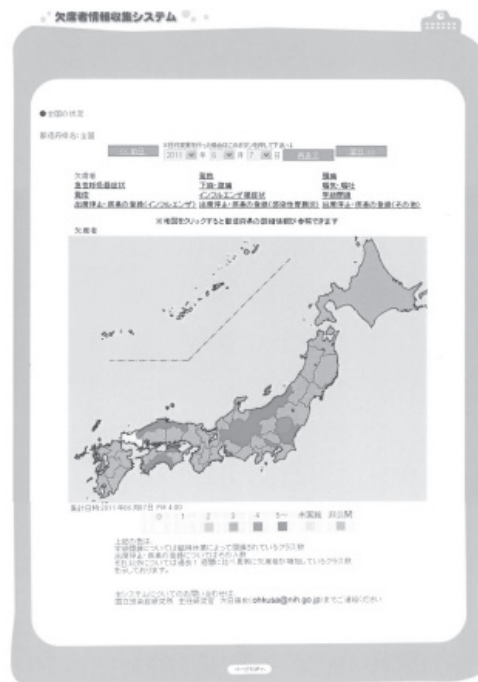
本紙1-2月号の学校給食の欄で財団法人日本学校保健会が発行する「学校生活管理指導表」の存在を紹介しました。同協会は学童の健康全般にわたって啓発や提言等を精力的に行う団体として教育関係者には頼もしい存在となっています。

学校生活管理指導表は小学校から高校までの一般健常の学童生徒用、そして紹介しましたアレルギー児童用、さらに近年問題化している糖尿病患児用のシートもあって学校内での健康に関する生活管理に欠かせない情報源となっています。

また感染症の早期検知とその対応に供する「学校欠席者情報収集システム」を国立感染症研究所感染症情報センターと共同で開発。これによってたとえばインフルエンザによる学級閉鎖の判断や病原性大腸菌の学童への感染防止がパソコン画面上にリアルタイムでわかり、関係者への判断材料を提供しています。このようなシステムはお母さん方や保護者の方にはあまり知られていませんがインフルエンザだけでなく風疹の蔓延などにも事前に対応できるとのこと。

同協会ではさらに「推奨用品」制度を制定し、主に予防医学の分野での44アイテムを日本学校保健会推奨用品として学童への安心安全を保証しています。

同協会は1920年(大正9年)に帝國学校衛生会の名称にて発足し、戦後、多くの関係団体が集まって1954年(昭和29年)に財団法人日本学校保健会として活動領域を広げ90年以上の歴史を有して現在に至っています。



学校欠席者情報収集システム画面

日本学校保健会 URL=<http://www.hokenkai.or.jp>

上記、学校欠席者情報収集システムは次のURLで画面確認できます。
http://www.syndromic-surveillance.net/schoolkoukai/view_all.php

患者さんからのご相談は

いつでもお受けします。

症状がいっこうに改善されず長びく治療にイライラが募り先行きを悲観…ちょっと待った! 全国約450万人の方があなたと同じ悩みをかかえています。ここはみんなで「連帯」し、ささえあいましょう。日本アトピー協会をそのコア=核としてご利用ください。

ご 相 談 は

F A X : 06-6204-0052
メール : jadpa@wing.ocn.ne.jp
電 話 : 06-6204-0002

お手紙は表紙タイトルの住所まで、なおご相談は出来るだけ文面にしてお願いします。電話の場合はあらかじめ要点をメモにして手みじかにお願いします。(ご相談は無料です。)

◆協会は法人企業各社のご賛助で運営しております。 ◆患者さんやそのご家族からのご相談は全て無料で行っております。

日本産業皮膚衛生協会の総会に招待されて

患者さんとは直接には関係はないのですが、日本産業皮膚衛生協会（以下、日皮協）という団体があります。いま日本の化粧品で黒皮症になったとか繊維製品でかぶれたとかいったトラブルが全くないのは、この団体がしっかり検査をしているから…といわれます。大手の化粧品会社や繊維会社を会員に持つ日皮協は京都を拠点に「お肌」にかかわる分野で安心安全づくりに貢献しています。その総会がリーガロイヤルホテル京都で催され、日本アトピー協会も招待を受け、去る5月20日、理事長後藤田と副理事長倉谷が講演会・懇親会に参加しました。講演会はNMF（ナチュラル・モイスター・ファクター＝天然保湿因子）とプロテアーゼに関する研究発表とクモの糸の合成についての研究発表でかなり高度な内容。日頃の勉強不足もあって???の連続、ご招待いただいた河合享三先生には申し訳ない次第です。ただこのような高度な研究が進められ、侃々諤々の議論があって「お肌」への安全性が築かれているのだと実感いたしました。またクモの糸の合成に関してはナイロンよりもはるかに優れた超スーパー繊維が現われるのではと期待しています。日皮協は、1970年（昭和45年）に皮膚科医の河合享三先生と繊維会社トップがお肌への安心安全と、より高度な製品開発を主眼として

発足、40年にわたる歴史のなかでさまざまな技術委員会分科会が生まれ、各分野が縦割りではなく横断的に活動、異なった分野の研究者が知恵を出し合って質的向上とサムシングニューの創造を目指しています。

このような団体の存在は患者さんにも頼もしい限りでここに紹介いたしました。



法人賛助企業様ご紹介 第2回

協会は多くの法人賛助会員さまの年会費によって会務を行っております。そこでささやかな紙面ですが日頃お世話になっている法人様を入会年度順にてご紹介してゆきます。関係各位にはコメントをお願いしておりますので是非アトピーの患者さんへのひとことをお願いいたします。

マルホ株式会社

所在地 〒531-0071 大阪市北区中津1-5-22
電話 06-6371-8876
業種・取扱商品 医薬品
平成7年1995年設立時ご入会

アトピー患者さんへのひと言

健康に対して質の高い貢献を行うことを企業使命とし、皮膚疾患の医療用医薬品のほか、治療の妨げにならず、敏感な肌の方でもご使用いただけるよう安全性に配慮した低刺激性スキンケア製品「2e（ドゥーエ）」を取り扱う製薬会社です。皮膚に関する疾患・皮膚病の基礎知識や予防法、また「2e（ドゥーエ）」製品については下記URLをご参照ください。

マルホ株式会社患者さまコンテンツ

- ▶ <http://www.maruho.co.jp/kanja/>
2e（ドゥーエ）オフィシャルホームページ
- ▶ <http://2e.maruho.co.jp/>

法人賛助企業様へのお願い

アトピーの方へのメッセージ欄をより充実したく、法人様からの暖かなエールをお願いいたします。

皆さんでつくるアトピージャーナル

日本アトピー協会通信紙 あとぴいなう

発行 特定非営利活動法人 日本アトピー協会
発行人 後藤田 育宏
主幹 倉谷 康孝
〒541-0045 大阪市中央区道修町1-1-7日精産業ビル4階
電話 06-6204-0002 FAX.06-6204-0052
E-Mail jadpa@wing.ocn.ne.jp
Home Page <http://www.nihonatopy.join-us.jp/>

医学会患者会情報・新製品ニュース
話題・トピックスなど随時ご投稿ください。
鋭意検討のうえ掲載いたします。

次号発行予定 8月12日

DOCTOR INTERVIEW

ドクター インタビュー

医療法人 笹川皮フ科

笹川 征雄 先生

-----先生は、「NPO法人シックハウスを考える会」の副理事長として、シックハウス症候群、シックスクールの問題にも取り組まれておられますが、きっかけはございますか？

1997年に大阪府保険医協会の「シックハウス症候群」という講演会があって、それが僕が室内環境に関心をもつきっかけとなりました。ホルムアルデヒドってありますね。昔はホルムアルデヒドは化粧品や衣類などに入っていて、かぶれのもとで有名でした。かぶれの原因を調べるパッチテストという皮膚テストがありますが、臨床医にとってとても大事なことなのに意外と普及していなかったのです。そこで、これからの皮膚科医は皮膚科独自の技術を持たなければ…と思い、当時、大阪皮膚科臨床医会の幹事で研究部門を担当していたので、開業医にパッチテストを普及させるための研究活動をずっとやってきていました。そしてシックハウスに取り組んでいる菌科の先生から、ホルムアルデヒドとアトピーのパッチテストのデータを持っているなら、是非発表して欲しいと言われ発表し、これがマスコミにも大きく取り上げられました。

それまではホルムアルデヒドは接触によるかぶれの原因物質だったのですが、今度は室内空気を汚染するものという全然違うかたちで、新たな問題として浮上してきたのです。

その頃はシックハウス症候群の診断基準があまりなかったのです。WHO(世界保健機関)の基準があるにはあったけれど、医者が現場で使えるようなものがなかったんですね。そこで僕はいろいろと勉強して、2001年度にシックハウス症候群の診断基準を日本で初めて作りました。それまでも基準を作っておられた先生もいましたが、シックハウス症候群と化学物質過敏症を同じカテゴリーと考えて診断基準を作られていましたが、僕は違うと考えていたのでシックハウス症候群だけの診断基準を発表しました。

-----似たようなコトバですがシックスクールというのがありませんね。それについてお聞かせください。

シックスクールというのは、シックハウスの学校の場合ですね。東京・調布市に新しく出来た学校でシックスクールの問題が起きたことがあって、シックハウスの原因となるトルエン濃度がガイドラインの10倍も高かったんですよ。判っていたにもかかわらず開校してしまって、そんな教室で1ヶ月間も児童は勉強していたんですね。当然のこと、児童たちに健康障害などが出てきました。マスコミでも頻繁に取り上げられ社会問題になったのですが、調布市もこんな事例は初めてでどうしていいかわからないと大混乱でした。僕は「NPOシックハウスを考える会」の副理事長をしていましたが、調布市から1000万円の調査費をもらって調査に当たりました。

空気質測定から健康調査まで詳細に調査しました。シックスクールが問題になったのもその頃からで、新聞にもいっぱい載りましたし、取材もいっぱい来ましたね。韓国のKBSやSBSからも取材にきました。それから遡って1年前にも大阪・堺市の湊保育園でトルエン濃度がガイドラインの20倍から30倍もの高い数値を示すケースがあって、当時、0歳の赤ちゃんから5歳の子どもまで保育されていたので、お母さんが激怒してそれはそれは大変なことでした。この場合はトルエンが床の奥底に染み込んでなかなか放散(蒸発)しなかったようで、現場にいったら非常に強い刺激臭がありました。NHKも特集を組んで大きく取り上げましたね。

実はこれは、縦割り行政の弊害なのです。厚生労働省はガイドラインで13物質を決めていてトルエンが入っていましたが、国土交通省のガイドラインにはトルエンは入ってなかった。建築設計士はお目付である国土交通省のガイドラインだけをもとにホルムアルデヒドだけに配慮



笹川先生は、昭和43年北野病院皮膚科に勤務、昭和49年から大阪赤十字病院皮膚科に勤務され、昭和51年大阪市城東区に笹川皮フ科を開院し25周年を迎えられました。

今年6月11日(土)・12(日)に大阪国際会議場グランキューブで開催される「日本臨床皮膚科医会総会」の会頭を勤めておられます。

〒536-0016

大阪市城東区新喜多1-1-15

TEL.06-6931-8009

して設計していたんですね。設計士はトルエンがまったく頭にはなかったと後悔していました。

こういった例のように、化学物質に最も気を使うべき子どもたちが健康被害を浴びることが社会的な問題になってきたのです。建築前にシックスクールにならないように十分な配慮をした設計をして欲しいと父兄からも要望を受けていたのにも関わらず、こういう問題が発生してしまっただけですね。

-----シックスクールに関しては難問山積ですね。ところで6月に開催される臨床学術大会での会頭講演のテーマ「室内環境と皮膚」について少しお聞かせいただけますか？

これからの時代、地球温暖化の問題などで省エネのために部屋を閉めきることが多くなりますよね。僕はシックハウスの第二波が起こるのではないかと心配なんです。

第一波は、1973年のオイルショックのときで、世界的な省エネ指向があって、住宅建設においては高气密住宅が主流になってきました。僕はシックハウスが起こった原因は3つあると考えています。ひとつは、省エネ設計で気密性の高い室内環境になったこと、ひとつは、ビルなど開かない窓が多くなったこと、共働きであり窓を開けないことなど、部屋の外から自然な空気が室内に入らないようになったこと、あとひとつは、健康被害で有名になったホルムアルデヒドが含まれた合板や壁紙などの建築材料や、私たちの生活で防臭防虫剤、香水、化粧品、パソコンやテレビなどの電化製品などからVOC(揮発性有機化合物)が放散する生活用品を多く使うようになったこと、これらはシックハウスが起こった3つの原因だと思っています。安心安全で健康によい住宅より、見栄えのよいデザイン、目先の快適さ、安くて早くできるなどを優先した結果がこのような事態を招いたと思います。

ほとんどの人は一日の生活の中で90%以上の時間を室内で過ごします。このことはみなさん意外と認識されないようですが、やっぱり皮膚は環境と接する一番最前線の臓器なので、じかに化学物質やダニ、カビ、温度湿度などさまざまな環境の影響を受けます。だからこそ室内環境はすごく皮膚にとっては大事なものなんですよ。にもかかわらずこれまであんまり目を向けてこられなかったというのが現状です。この観点から今後は室内環境と皮膚をテーマとして、もっともっと皮膚科で注目して研究していくことが必要だと思います。判らないこともまだまだたくさんあるんですよ。特別講演では短い時間ですが、そういった主旨で室内環境にはどういった問題があるか、どうあるべきかをお話しようと思っております。

-----開催準備でご多忙の中、たいへん意義のあるお話をお伺いし有難うございました。

取材・三原ナミ(オフィス・メイ)

第27回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会付設展示会に患者団体展示として参加

「飛翔…皮膚科医のアイデンティティ確立に向けて」をテーマに表題の学術総会が大阪堂島の大阪国際会議場「グランキューブ大阪」で6月11日(土)、12日(日)の2日間開催されます。日本アトピー協会は会頭の笹川先生はじめ理事各位や関係の先生方のご好意で患者団体紹介スペースの提供をいただき展示出展いたします。16年間にわたって細々ながら活動を続けてきました中で、このような先生方のご好意を頂戴出来たことを患者さん、賛助会員各位とともに喜びたいと思います。展示は協会会務および活動状況をパネル等で紹介し、また今回の東日本大震災における患者さんへの支援状況ならびに支援物資の実物展示などを行います。これを機に多くの志を同じくする各地の患者団体様と連帯し、今後とも患者さんを取り巻く治療環境の改善やアメニティー化に貢献して行きたいと願っております。次号にて詳細報告を予定しております。



学会シンボルイメージ
日本臨床皮膚科医会ホームページより

「症状チェックカレンダー」 ひきつづきプレゼント中!!

多くの患者さんのご相談を受けてきました経験から「こんなチェックシートがあったらイイなあ」とアレコレ試行錯誤しながら構築し、パソコンで簡単に入力できるものをつくりました。症状の推移が一目で判り、スキンケア等ご自分でセルフコントロールする目安となります。

「症状チェックカレンダー」は一年間の推移を知ることができます。アトピーは皮膚症状の悪化と軽快が繰り返してあらわれる慢性疾患です。その繰り返しのパターンは個人差があり、また「何か変わったこと」があると皮膚症状に反映します。年間を通して見ることで次年度の推移も予測でき病気への対応の目安となります。季節の変化もあって折れ線グラフを見ながら2年後はここを解消しよう、3年後はこのピークを無くそうとか考えながらイメージトレーニングしましょう。

以上の「症状チェックカレンダー」をCDにしてお届けしますので、この機会に症状をご自分でチェックする習慣をつくりましょう。お申込みは無料です。



お申込み方法

患者さんまたはそのご両親に限ります。法人はご遠慮ください。届け先住所・名前・電話番号・年齢・病歴などをお知らせください。お申込みは郵便物、FAXのほかメールでも受け付けますが電話でのお申込みは住所などの聞き間違いも生じますので必ず文書をお願いします。著作権がありますのでコピーして他に転用することは禁じます。なお個人情報の管理は厳重にいたしますとともに物販、特定治療法の勧誘等のいっさいの行為は行いません。また日本アトピー協会は患者さんやご家族からの会費等は頂戴しておりません。

ATOPIC LIBRO 読んでみましたこの書籍

◆「アトピー性皮膚炎診療が楽しくなる」Q&Aで考える実践治療
竹原和彦著 南江堂 3,800円+税

膠原病専攻が図らずもアトピー性皮膚炎専門医になってしまったという著者の医療関係者向け3冊目の本。といっても患者が読んではいけない本ではなく、むしろ患者こそこの本を読んで自己研鑽してもらいたいもの。診察室で出会った様々な患者からの疑問難問珍問に答える形式で構成、答えは選択式。ページ表裏で1問、合計100問ではぼアトピーの抱える問題はクリア出来るとか。「楽しくなる」と敢えて標題に冠したのは、それだけ医師が身構えて患者に接している証拠なのかな? 最初はおっかなびっくり、そして脱ステ派からは目の敵にされ、アトピービジネスと格闘し、そして今、ようやく自信を持って患者に接する著者竹原医師の力作。もちろん研修医、看護師さん必読。



◆「ペット溺愛が生む病気」
荒島康友著 (株)講談社 860円+税

獣医師の先生が書かれた書籍です。あまり見かけない分野の書籍だと思えます。「ズーノーシス」という言葉を聞かれた事ありますか? あまり馴染みの無い言葉ですが、ペットに関連していますのでとても身近で気を付けないといけない情報が書かれています。「我が家の家族だから大丈夫!」と皆さんお思いでしょうが、症状への影響も十分に考えられますので一度ゆっくり見直す事も大切かもしれません。また、色々な感染症やその予防方法なども掲載されています。主治医のドクターがペットを飼う話になると「う〜ん」と言うのが少しは納得出来るかもしれません。

